

球磨川水系 緊急治水対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が協働し、まちづくりと連携した治水対策の推進～

○ 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む

○ 令和3年出水期に向けて、浸水被害箇所等の堆積土砂の撤去やタイムラインの改善等を緊急的に実施する。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 河川区域での対策

- 河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地、放水路（御溝川）等

全体事業費 約1,540億円

事業期間 令和2年度～令和11年度

- 新たな流水型ダム、市房ダム再開発

調査・検討に令和3年度から本格着手

- 利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 等

○ 集水域での対策

- 水田、ため池等の活用
- 下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- 森林の整備・保全
- 土砂や流木の流出抑制対策（砂防、治山） 等

■ 被害対象を減少させるための対策

○ 氾濫域での対策

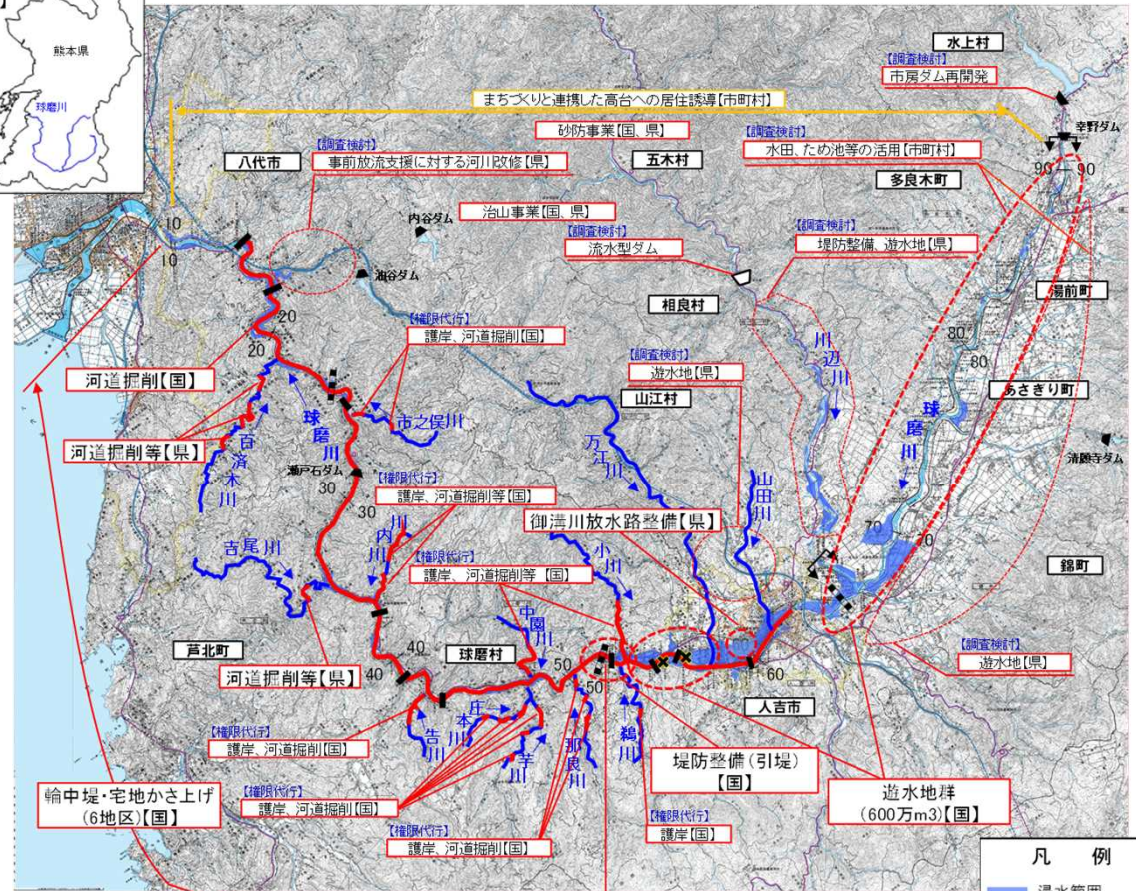
- まちづくりと連携した高台への居住誘導
- 土地利用規制・誘導（災害危険区域等）・移転促進
- 不動産取引時の水害リスク情報提供
- 二線堤、自然堤防の保全
- 排水門等の整備や排水機場等の耐水化 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○ 氾濫域での対策

- R2.7豪雨の課題を受けたタイムラインの改善
- 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- ネットワーク回線の二重化
- WEB版のハザードマップ作成
- 庁舎等の浸水対策の実施
- 水防備蓄倉庫の拡充 等

【位置図】



凡 例	
	浸水範囲
	堤防決壊箇所
	大臣管理区間
	道路橋(落橋)
	鉄道橋(落橋)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。